

Story

○なぜ今までベトナムは自動販売機がないの？

日本では街の中で、至る所に自動販売機を見かける。しかし、ベトナム・ハノイで自動販売機が設置されたのは、2016年のことである。ベトナムは長い歴史で、消費者はほとんど市場、スーパーで買い物をしてきた。価格は安く、早く買い物できる。街の中でどこでも屋台があり、自動販売機を使う機会があまりなかった。

○自動販売機の普及現状

現在全国で色々な企業が自動販売機を設置している。ハノイ、ホーチミン、フエ、ハーロン、ダナンなどで自動販売機が置かれている。多くは公園、病院、大企業（サムスン等）で設置されている。

○これから

ハノイ市 Hoan Kiem 区人民委員の統計によると、自動販売機を設置した 2016 年 9 月からの 4 ヶ月で、自動販売機を経て 214,383 本が販売されており、売上げは 18 億ドンとなった。最初はハノイ、次にホーチミンで設置された。若者と観光客に強く支持されている。ハノイ市政府は、2018 年計画で電子決済の普及を打ち出しており、その流れに乗って、さらに普及すると考えられる。（Nguyễn Bích Ngọc 記）



★商品および値段

ミネラルウォーター	5000 ドン (約 25 円)
レモンティー	1 万ドン (約 50 円)
オレンジジュース	1.5 万ドン (約 75 円)
カフェ	1 万ドン (約 50 円)

(1 円 = 約 200 ドン)

(機械によって、商品が違う。一つの機械に 300 本が入っている。)

出典：baomoi.com

2016 年 12 月時点